

**ジャパンサーチ(仮称)の実現のために**  
— 国の統合ポータルサイト構築に向けて —

# デジタルアーカイブ促進のための国立国会図書館の取組

## 1) 国全体の分野横断統合ポータル構築

進捗

### 【国立国会図書館サーチの連携拡張】

- ・農水省図書館等3件のデジタルアーカイブと連携
- ・公共図書館等のAPIの整備・推進
- ・国立国会図書館サーチと文化遺産オンラインとの連携に向けた調整を開始

今後

### 【国立国会図書館サーチの連携拡張】

- ・28年度中に国立国会図書館サーチと文化遺産オンラインの自動連携の実現、持続可能なシステム連携について継続検討
- ・国立国会図書館サーチと他領域の大規模アーカイブ機関との連携の具体化に向けた検討

## 2) 集約したメタデータの利活用の促進

進捗

### 【メタデータのオープン化・標準化の推進】

- ・国立国会図書館サーチ:メタデータのデータセット抽出機能の開発、外部提供APIの応答性能の向上
  - ・当館作成書誌データ等の二次利用の条件整備
- ### 【目的別・分野別ポータルの提供及びその支援】
- ・震災関連コンテンツに関するメタデータを用いて「NDL東日本大震災アーカイブ」を充実

今後

### 【メタデータのオープン化・標準化の推進】

- ・(実務者協議会の議論を反映した)国の推奨ガイドラインの策定への関与
- ### 【目的別・分野別ポータルの提供及びその支援】
- ・国立国会図書館サーチが集約・提供するメタデータを用いた目的別・分野別ポータルの構築を(関係府省・関係機関と協力して)支援

## 3) コンテンツの拡充・利活用の促進

進捗

### 【資料デジタル化の推進】

- ・災害対応力強化の目的で所蔵資料8.8万冊のデジタル化を実施
  - ・デジタル化研修の実施、デジタル化手引の公開
- ### 【デジタル化資料の利活用の促進】
- ・デジタル化資料の画像データの試行提供
  - ・本文検索目的のテキスト化の実施

今後

### 【資料デジタル化の推進】

- ・当館所蔵資料のデジタル化に加え、当館未所蔵かつ他機関所蔵の絶版等資料のデジタル化データの収集、及び図書館送信による提供
- ### 【利活用促進のための法制度整備】
- ・文化庁著作権課が進める孤児著作物の制度整備等への協力

# 実現に必要な国立国会図書館サーチの機能の整理

## これまでの国立国会図書館サーチの機能

- 国立国会図書館作成の各種データベースの横断検索の実現
- 図書館界のポータル提供
- 学術情報を中心としたメタデータの集約、(一部の)API提供



## 「国の分野横断統合ポータル」になるために足りない機能

- 国全体の多種多様なコンテンツのメタデータを集約・提供し、コンテンツの利活用を促すプラットフォームの機能
- 集約したメタデータを利活用しやすい形で提供する機能
- コンテンツへの効果的なナビゲーションを可能とする検索機能

⇒ 国立国会図書館サーチを発展し、ジャパンサーチ(仮称)へ

# ジャパンサーチ(仮称)の実現へ

## 国立国会図書館サーチ

### NDL-DB内の統合ポータル

= NDL-OPAC、リサーチ・ナビ、NDLデジタルコレクション等をまとめてサーチ  
+ 本文検索サービスの提供

### 書籍等分野のアグリゲーター

= 総合目録ゆにかねっと、CiNii、J-STAGE等との連携

## ジャパンサーチ(仮称)

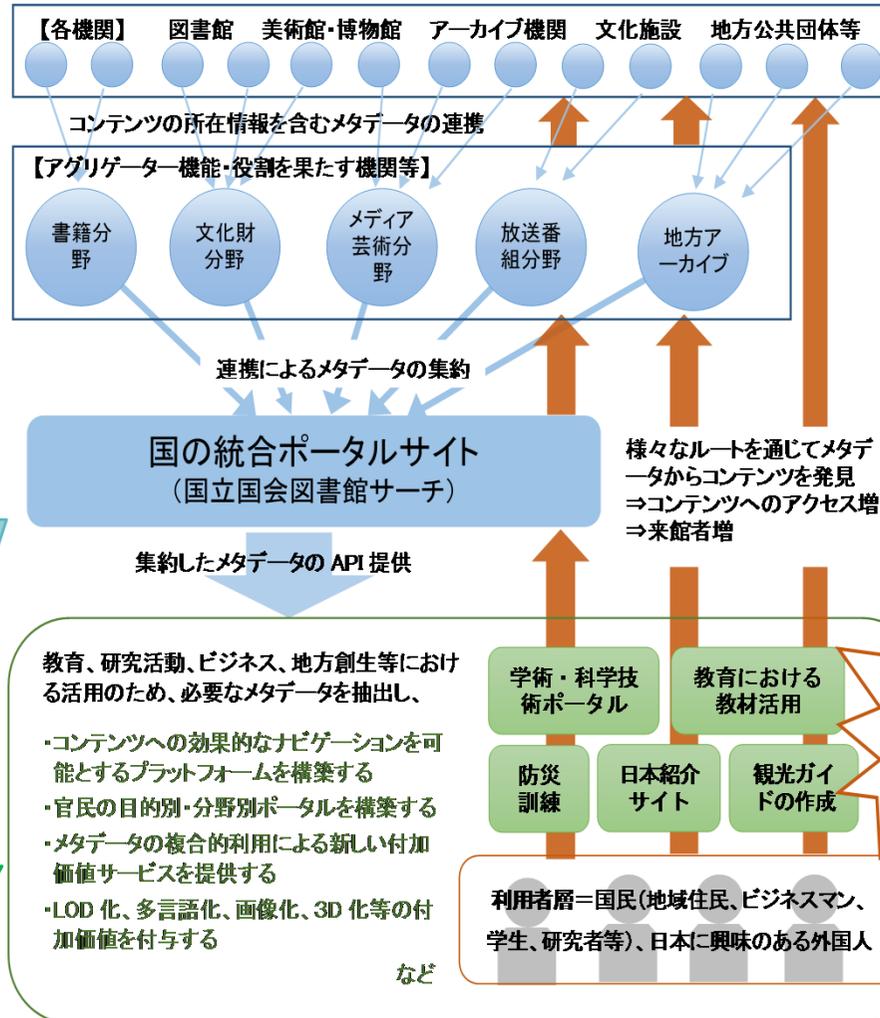
= EuropeanaやDPLAと同様、世界に向けて我が国のメタデータを流通・発信できるものへ

= 多様な分野のコンテンツへのアクセス、所蔵館情報をわかりやすく伝えるものへ

= メタデータの活用がしやすいものへ

### メタデータの活用

= 利活用事例: NDL東日本大震災アーカイブ等  
= 付加価値サービスの検討



2020年までの提供を目指して、**基盤整備と連携拡充が必要**

# 分野・地方ごとの様々な状況に応じた 連携の段階的整備の具体化に向けて

## 国立国会図書館サーチと各アーカイブの連携状況

### 連携済み

- e国宝 – 国立博物館所蔵 国宝・重要文化財
- 国立美術館 所蔵作品総合目録検索システム
- 秋田県デジタルアーカイブ

### 連携予定

- 文化遺産オンライン  
※2016年度中に連携強化に必要なシステム整備のための取組を開始する。(知財計画2016)

### 未連携 (要検討)

- メディア芸術等分野
- 放送コンテンツ分野  
(参考)「NHK東日本大震災アーカイブス」と「国立国会図書館東日本大震災アーカイブ」とは連携済み。